

臨床研究に関する情報公開

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は通常の診療で得られる試料や情報を利用することによって行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、個別の説明と同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせがありましたら以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また、試料や情報がこの研究で用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので以下の「問い合わせ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究課題】 初発卵巣がん患者の効果予測因子としてのベバシズマブ関連有害事象に関する検討

【研究責任者】 小樽市立病院 薬剤部 伊佐治 麻里子

【研究代表者】 北見赤十字病院 薬剤部 佐藤友昭

【研究目的】 初発卵巣がんの初回化学療法としてカルボプラチン+パクリタキセル(TC)+ベバシズマブ(BV)療法を施行した患者において、BV 関連有害事象の発現が効果予測因子であるか検討することを目的に調査を行う。

【研究期間】 当院倫理委員会による承認から 2022年7月31日まで

【研究対象】 2013年12月1日から2020年12月31日に、初回化学療法としてTC+BV併用/維持療法を開始した20歳以上の初発卵巣がん/卵管がん/腹膜がん症例を対象とする。なお、BV開始時期は定めないこととし、尿検査未実施症例は除外する。

【研究に用いる試料や情報】 血液検査の結果や病歴など（情報）

【研究機関への資料や情報の提供と提供方法】 データセンターへのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

【研究組織】 小樽市立病院（伊佐治 麻里子）、北海道がんセンター（梅原 健吾）、天使病院（神垣 輝美）、北見赤十字病院（佐藤 友昭）、市立函館病院（中嶋 紘文）、函館中央病院（今野 美里）、KKR札幌医療センター（畠山 智明）

【問い合わせ先】

北海道北見市北6条東2丁目1番地

北見赤十字病院 薬剤部 担当 佐藤友昭

電話 0157-24-3115 FAX 0157-22-3339